

○調査目的

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

○調査実施日

令和5年9月5日(火)

○実施校数

128校(466校)

○実施生徒数

14,882人(58,451人)

○学力に関する調査

国語、数学、英語、社会、理科(A・B・C)

○調査対象

中学校3年

○学習状況に関する調査

生徒アンケート

※実施校数、実施生徒数、平均点、無解答率の()内の数字は大阪府である。

※集計値/グラフは、9月5日に調査実施した生徒を対象として集計した値である。

中学校3年【国語】

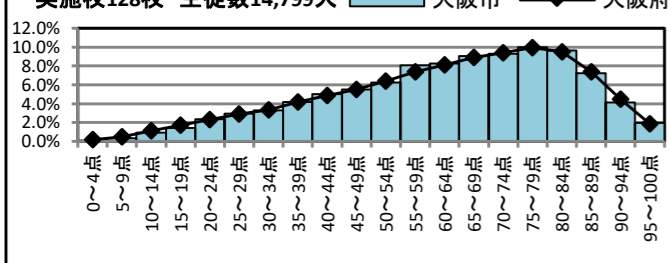
平均点

62.3(62.1)点

無解答率

9.9(10.3)

実施校128校 生徒数14,799人



良好

- 多様な語句について、意味や働きを理解すること
- 目的や場面に応じて伝える内容を検討すること

課題

- 資料を活用し、根拠を明確にして話すこと
- 必要な情報を整理し、内容をまとめること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★話すときは、資料を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝えるように工夫しましょう。また、自分の立場や考えが明確になるように、適切な根拠を挙げて話すようにしましょう。
- ★情報の整理をするときは、比較や分類、関係付けなど、整理の仕方を意識して、内容をまとめるようにしましょう。

中学校3年【数学】

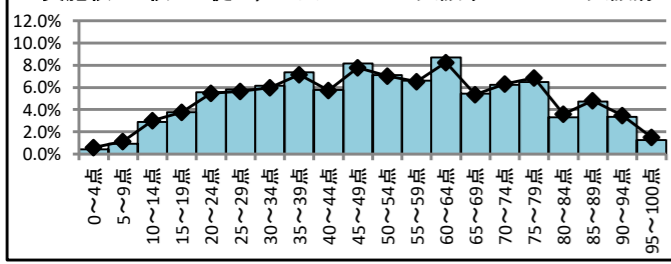
平均点

51.9(52.2)点

無解答率

10.6(11.2)

実施校128校 生徒14,814人



良好

- 空間における直線と直線の位置関係を理解すること
- 資料から必要な情報を適切に読み取ること

課題

- 筋道を立てて考え、平行四辺形の性質を使って証明すること
- 事象を数学的に解釈して、グラフをかき、グラフ上の座標を読み取ること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★平行四辺形の定義や性質を確認しましょう。また、証明するときは、等しい角や辺、平行線等を見つけ、証明する筋道を立ててから証明を書きましょう。
- ★具体的な事象における二つの数量を表、式、グラフに表すときは、xの値が1増加するとき、対応するyの値がどれだけ増加するかを考えましょう。

中学校3年【英語】

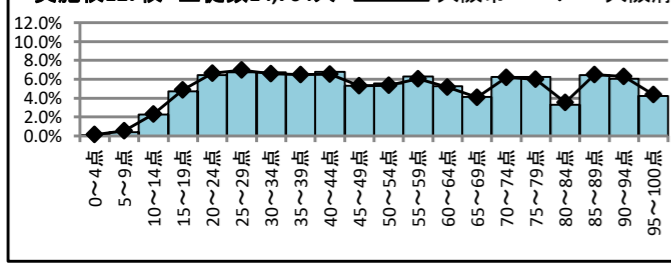
平均点

54.3(54.2)点

無解答率

6.2(6.5)

実施校127校 生徒数14,764人



良好

- 日常的な話題について、話の内容の要点を適切に把握すること
- まとまりのある会話文を読み、話の概要を捉えること

課題

- 無生物主語の文構造を捉えながら書くこと
- 語と語の連結による音変化を意識して聞き、話の概要を捉えること

【これからの学習に向けたアドバイス】

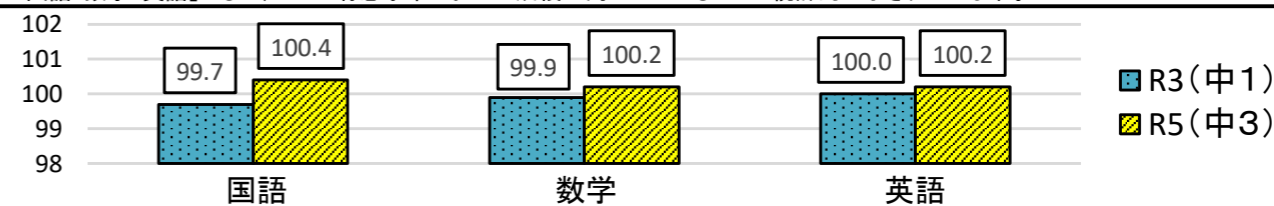
- ★与えられた情報に基づいて正しい英語を書くためには、Iまたはyou以外の語や無生物が主語になる文構造を使い、表現の幅を広げましょう。
- ★自然な速さで話される音声を受取る時は、つながる音や消える音などの音の変化や強勢による英語特有のリズム、イントネーションを意識しながら話の内容を捉えましょう。

標準化得点を活用した 経年分析

※標準化得点は年度間の相対的な比較ができるよう、大阪府平均を100として統計的に計算したものです。
※令和3年度と令和5年度で、個々の生徒の対応のあるデータにより分析したものです。

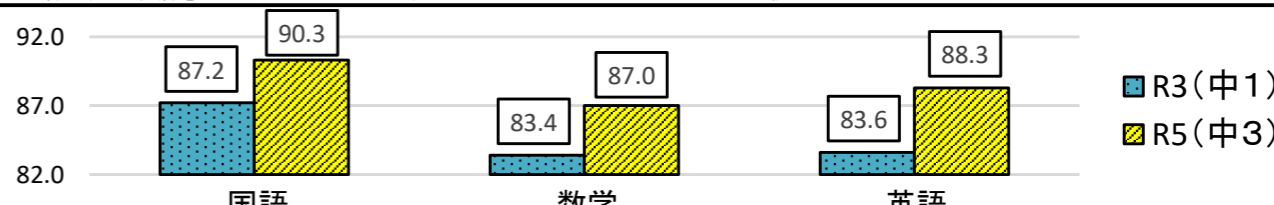
【大阪市全体の経年分析】

□「国語・数学・英語」ともに、1%の有意水準において成績が向上していることが統計的に示されています。



【学力に課題の見られる生徒(区分Ⅳ)の経年分析】

□「国語・数学・英語」ともに、1%の有意水準において成績が向上していることが統計的に示されています。



※大阪府の生徒全員の得点分布の状況から高い順に概ね25%になるように区切り、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの4つに分けて分析しました。
なお、得点が高い場合は上位の区分に含んでいます。

中学校3年【社会】

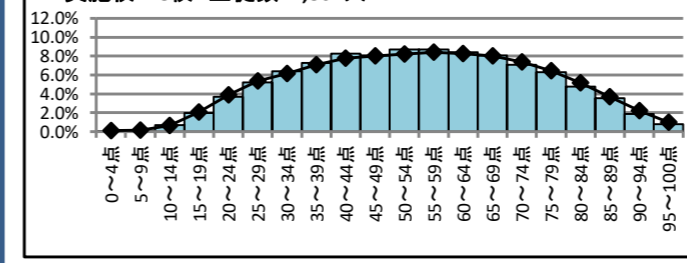
平均点

54.2(54.7)点

無解答率

2.9(3.1)

実施校128校 生徒数14,862人



良好

- 土地の標高について、地形図から読み取った情報をもとに考察すること(地理)
- 奈良時代の都と天皇の関りについて理解すること(歴史)

課題

- アメリカ合衆国の農業地域について、地図で示されたことなどをもとに考察すること(地理)
- 明治時代の労働事情や工場法について理解すること(歴史)

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★世界の諸地域における産業の特徴を、地図や統計資料等と関連付けて読み取りましょう。
- ★歴史的事象について、関連する諸資料を適切に読み取り、それまでの歴史の流れを踏まえて考察しましょう。

中学校3年【理科A】

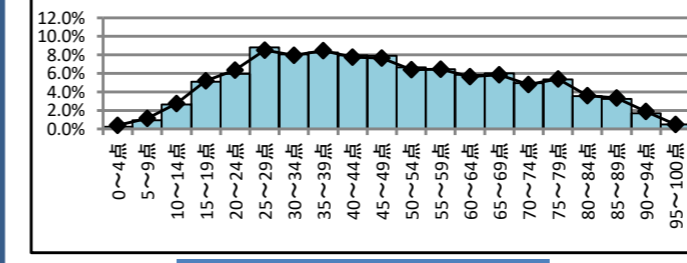
平均点

42.7(44.8)点

無解答率

9.0(9.0)

実施校2校 生徒数241人



中学校3年【理科B】

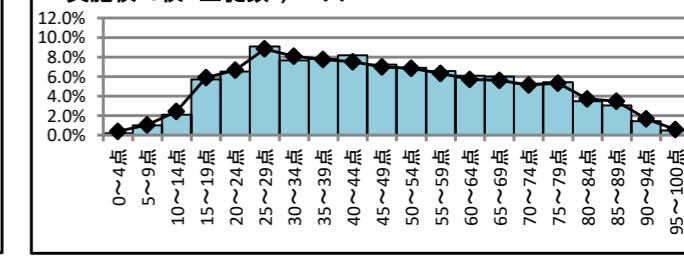
平均点

47.7(47.6)点

無解答率

7.8(8.7)

実施校23校 生徒数2,721人



良好

- メスシリンダーの基本的な扱い方について理解すること
- 赤血球のはたらきについて理解すること

課題

- 肝臓とじん臓のはたらきと血液の特徴を関連させて考えること
- 光が進む道筋について規則性を見だし、表現すること

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★物質を運搬する仕組みとして、体のつくりと働きを関連付けて、体の中をどのように血液が循環しているかを表現しましょう。
- ★光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見だして理解しましょう。屈折については入射角を変化させたときに、屈折角がどのように変化するかを表現しましょう。

中学校3年【理科C】

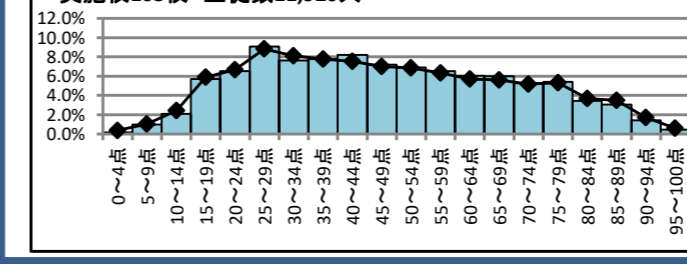
平均点

47.8(47.6)点

無解答率

8.0(9.0)

実施校103校 生徒数11,920人

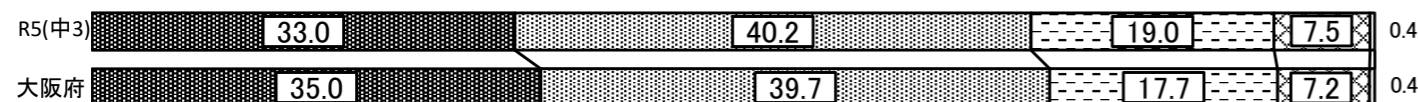


生徒アンケート結果

1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



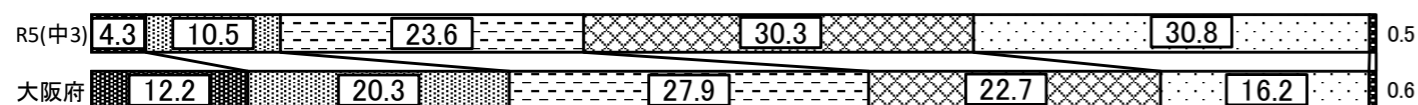
2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



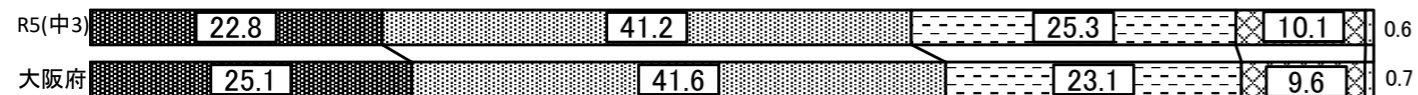
3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



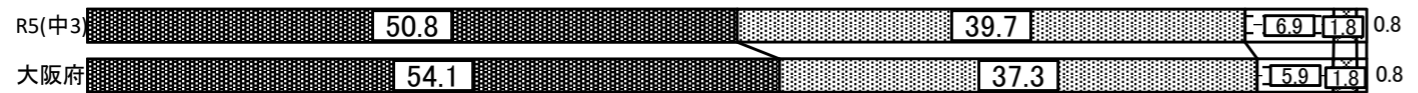
5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



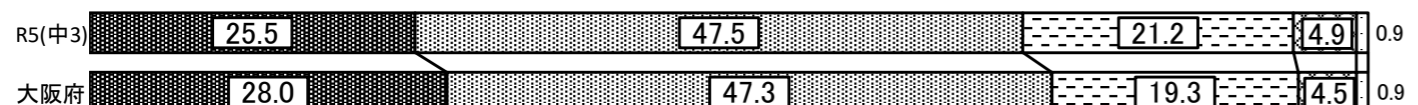
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



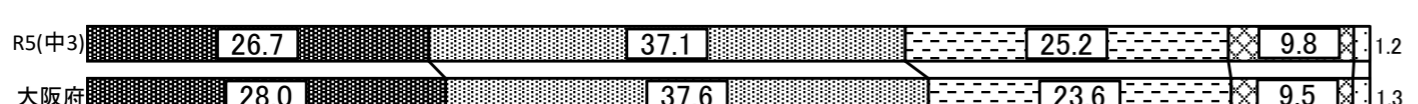
7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



8. 難しいことがあっても、あきらめない。

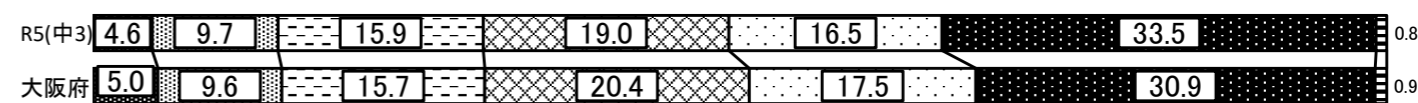


9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。

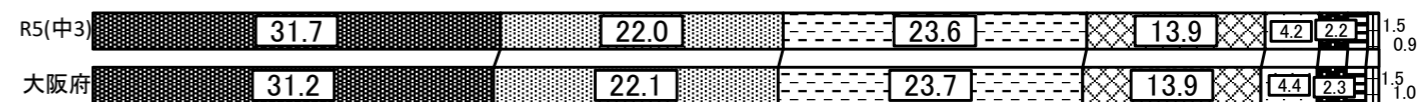


1~3, 5~9 ■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない □その他・無回答
4 ■ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回以上 □月1回より少ない ■その他・無回答

10. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。



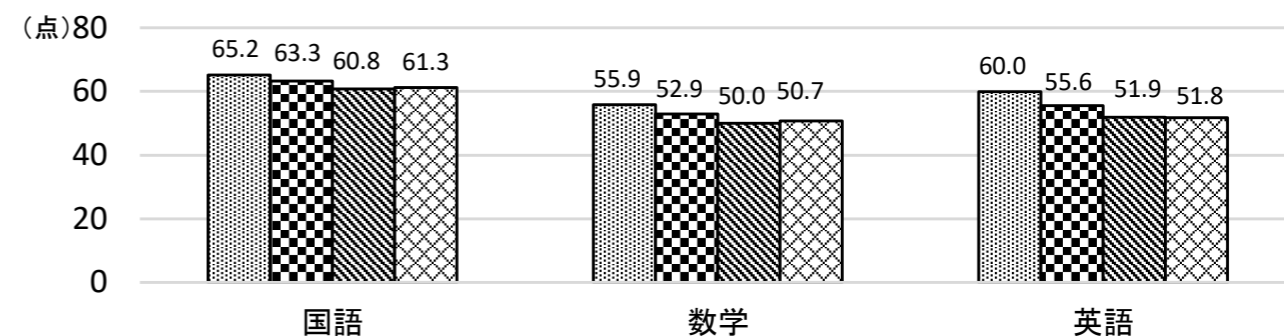
11. 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



10 ■2時間以上 □10分より少ない ■1時間以上、2時間より少ない □30分以上、1時間より少ない □10分以上、30分より少ない ■全くしない □その他・無回答
11 ■4時間以上 □1時間以上、2時間より少ない □3時間以上、4時間より少ない □2時間以上、3時間より少ない ■スマートフォンやタブレットを持っていない □その他・無回答 ■30分より少ない

教科の平均点と生徒アンケートのクロス集計結果

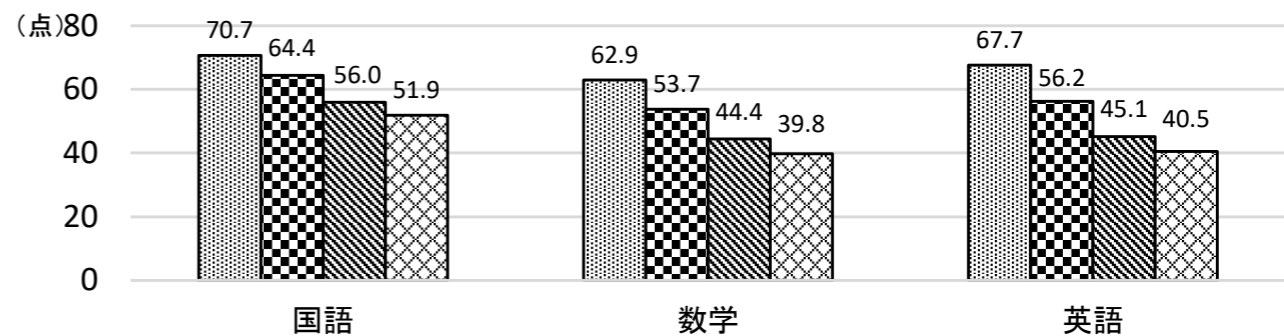
授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。



■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面があると肯定的に回答している生徒の方が、教科の平均点が高い傾向が見られます。

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



■当てはまる □どちらかといえば、当てはまる □どちらかといえば、当てはまらない □当てはまらない

家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強していると肯定的に回答している生徒の方が、教科の平均点が高い傾向が見られます。

■本調査の結果とともに「ワークブック」や「力だめしプリント」などの学習に役立つ情報については、大阪府教育庁 市町村教育室 小中学校課のWebページにおいてもお知らせしていますので、ご活用ください。
○復習教材 http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/r02_3_fukushu.html

■今回お知らせする調査結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。